

衆議院外務委員会ニュース

平成 28.3.18 第 190 回国会第 5 号

3月18日（金）、第5回の委員会が開かれました。

1 日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第六条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定第二十四条についての新たな特別の措置に関する日本国とアメリカ合衆国との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第1号）

- ・岸田外務大臣及び若宮防衛副大臣に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・笠井亮君（共産）が討論を行いました。
- ・採決を行った結果、賛成多数をもって承認すべきものと決しました。
（賛成－自民、民維ク、公明、おおさか、結集、生活 反対－共産）

（質疑者及び主な質疑内容）

武 正 公 一 君（民維ク）

- ・シリアで拘束されたとみられる安田純平氏に関し、政府による事実関係の把握及び対応状況を伺う。
- ・日米地位協定の環境補足協定は、返還前立入の期間が沖縄県等の要望よりも短くなるなど、内容として不十分なのではないか。
- ・在日米軍駐留経費負担に係る2016年度予算額が日米合意における同年度の我が国負担額よりも30億円多くなった理由と、今後5年間の予算額が日米合意における我が国負担額よりも増大する可能性について、政府の見解を伺う。